

令和7年10月後半分青果物使用品名と産地(10/13～10/31)

～生産(地)の状況～

じゃがいも、玉ねぎ、人参は北海道に頼る部分が大きいが、6～8月の悪天候が響いている。
例年8～3月に使用している北海道産の玉ねぎは、平年値より10万トン少ない収量とのことである。猛暑による痛みや玉の生育止まりにより小玉で、収穫自体も3分の2になっており、高値傾向にある。そうした中だが、給食には大きめのものを提供してもらっている。
じゃがいもは、早出し分の状況はよくない。10月22日頃から「ホッカイコガネ」が入ることになる。今後も品不足が懸念され価格上昇すると見込んでいる。
人参は猛暑や干ばつの影響を受けて生育不良である。産地リレーができておらず高値が予想されるが、各産地の出荷状況を見ながら対応したい。
気温が低下すると葉物も少しずつ増えてくる。チンゲン菜の露地ものは11月中旬からで、10月いっぱいM・S中心で高値傾向は変わらない。キャベツは小玉傾向で出荷量が伸びずに価格も徐々に上昇するとみている。生姜も大雨の影響が大きく高値になっている。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	さつまいも	熊本県・大分県産
3	人参	北海道産
4	キャベツ	熊本県産
5	玉ねぎ	北海道産
6	もやし（小）	熊本市産
7	もやし（大）	大分県産
8	ピーマン	熊本県産
9	トマト	熊本県産
10	ミニトマト	熊本県産
11	胡瓜	熊本県・九州産
12	ごぼう	鹿児島県・青森県産
13	白ネギ	九州・北海道産
14	チンゲン菜	熊本県産
15	小松菜	熊本市産
16	にら	熊本市産
17	パセリ	長野県産
18	セロリ	長野県産

No	品名	産地
19	洗いレンコン	熊本市産
20	白菜	長野県・熊本県産
21	大根	熊本県・青森県・北海道産
22	なす	熊本市産
23	にんじく	青森県産
24	生姜	熊本県・長崎県産
25	南瓜	北海道産
26	えのきだけ	長崎県産
27	本しめじ	福岡県産
28	生しいたけ	宮崎県産
29	エリンギ	長崎県産
30	水前寺菜	熊本県産
31	みかん	熊本市産
32	りんご	長野県産
33	バナナ	フィリピン産
34	柿	和歌山県・奈良県・三重県・福岡県産
35	梨	熊本市産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134, セシウム-137合計で25Bq／Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。

※No.34【柿】 10月28日使用分より「福岡県産」が追加されます。